

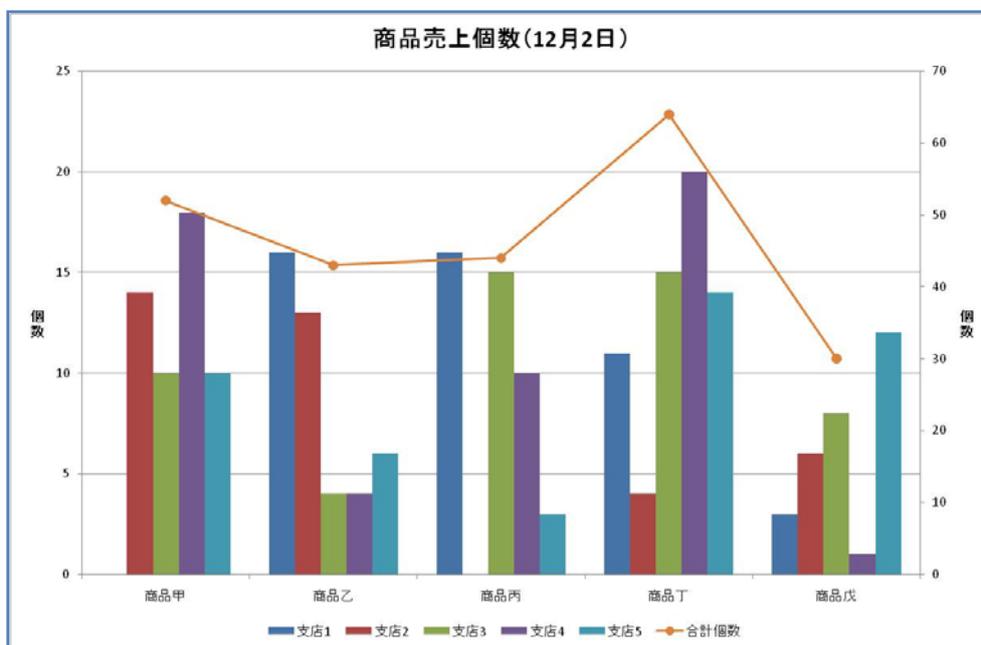
2009 年度経済情報処理 2 実技試験 2 回目模擬問題

ファイル名「実技試験 2 回目模擬問題」を開き次の問題に答えましょう。

- [Sheet1]シートのシート名を[商品売上表]に、Sheet2 シートのシート名を「商品一覧」に修正する。
以下、指示がない場合は[商品売上表]シートでの処理とする。
- セル A3 をフォントサイズ 16、青字、太字に設定して、セル A3 から O3 までセルを結合して中央揃えにする。
- セル L4 のフォントを斜体、配置を中央揃え、セルの色を薄い緑色に設定する。
- セル L4 のスタイルを「項目」というスタイル名で登録する。
- セル A7 からセル O7 に、「4」のスタイル「項目」を適応する。
- セル A7 からセル O7 の下罫線を二重罫線に設定する。
- A 列の列幅を 9.00 に設定し、7 行目の高さを 21.00 に設定する。
- 商品名、単価、種類は、商品コードを元に[商品一覧]シートの商品一覧から、それぞれ関数を使って表示する。
- 合計個数は関数で求める。
- 合計金額は計算式で求める。
$$\text{合計金額} = \text{単価} \times \text{合計個数}$$
- 合計、平均、最大、最小(セル K33 からセル L36 参照)は関数で求める。
- 平均は関数を使って、小数点 2 桁目を四捨五入し、小数点 1 桁表示に修正する。
- 達成率は計算式で求める。ただし、%表示とし、小数点 1 桁表示とする（関数を使わない）。
$$\text{達成率} = \text{合計個数} \div \text{目標個数} \quad \text{目標個数はセル L4 からセル M4 参照}$$
- 評価は達成率をもとに関数で求める。達成率が 1.2 以上の場合「A」、1.2 未満 1.0 以上の場合「B」、1.0 未満 0.8 以上の場合「C」、0.8 未満の場合「D」とする。
- 順位は合計金額が大きい方を 1 番として関数で求める。
- 単価(セル D8 からセル D32)と合計個数(セル L8 からセル L32)に¥マークをつける。ただし、小数点以下の表示はしない。
- [商品売上表]シートをコピーして[商品売上表(2)]シートを作成し、作成した[商品売上表(2)]シートのシート名を「並べ替え」に変更して、[商品一覧]シートの後ろに移動する。
- [並べ替え]シートの表を、合計金額が大きい順に並べ替える。同じ合計金額がある場合は、

合計個数が多い順にする。

19. [商品売上表]シートの表において、12月2日のデータを使って次のグラフを作成し、[グラフの移動]を使って、新しいシート[Graph1]シートに移動する。



20. [Graph1]シートを[並べ替え]シートの後ろに移動する。
 21. [商品売上表]シートの表について、次のようなピボットテーブルを新しいシートに作成する。

	A	B	C	D	E	F
1	種類	(すべて)				
2						
3	平均 / 合計金額	列ラベル				
4	行ラベル	A	B	C	D	総計
5	12月1日	124200	75000		43266.66667	65800
6	12月2日	96000	93600	61100	60000	74360
7	12月3日	106200	65250	83500		80740
8	12月4日	67000		81000	52500	72500
9	12月5日	77750	86400	81000	56000	75780
10	総計	91483.33333	77100	76650	49716.66667	73836
11						

22. ピボットテーブルを作成した新しいシートのシート名を「ピボットテーブル作成」とし、[Graph1]シートの後ろに移動する。
 23. 上書き保存する。